

特定非営利活動法人  
気象キャスターネットワーク

活動報告書  
2008年



2009年2月18日 作成

NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21 高遠レジデンス上野桜木(地下1階)

TEL & FAX: 03-3828-8694 MAIL: [info@weathercaster.jp](mailto:info@weathercaster.jp)

## 目 次

1. 代表挨拶
2. 会員数とネットワークの拡大
3. 2008年総会・懇親会
4. 環境教育社会貢献活動
  - (1) 地球温暖化出前授業報告
  - (2) イベント報告
5. 気象教育活動
  - (1) 気象キャスターの育成集中講座
  - (2) 気象予報士対策講座
  - (3) 原稿講座
  - (4) アドバンス講座
6. 会員による講演活動
7. 2009年の活動予定
8. 事務局だより

# 1. 代表挨拶

日頃から気象キャスターネットワークの活動に対するご理解とご尽力を賜り、大変感謝しております。会員の皆様をはじめ、企業や関係機関のご支援によって、地球温暖化に関する環境教育活動や気象キャスターの育成など、幅広い活動が実施できたと思っております。重ね重ね御礼を申し上げます。

当会は5年間活動を続けてきた実績によって、NPO法人としては”ノウハウの蓄積”と”豊富な人財”という点で高いレベルにあるものと思っております。

今後はこれらの知的財産を基盤に、これまで以上に「地域に密着した」活動が必要だと感じております。なぜなら、Jリーグの成功は然り、プロ野球もこれに遅れまいと必死です。気象情報も同じで、ローカルの気象情報を地元で精通した気象キャスターが伝えてこそ本物です。

今年度は地域の産・官・学との連携をさらに深め、もっと地域に親しまれる気象キャスターネットワークへと進化する元年なればと考えております。そのためには、皆様にご無理をお願いすることがあろうかと思いますが、お忙しい仕事の合間でも結構ですので、ご協力いただければ幸いです。2009年も何卒、宜しくお願いいたします。



WCN 代表  
平井 信行

## 2. 会員数とネットワークの拡大

気象キャスターネットワークは北海道から鹿児島まで全国に広がっていて、2008年12月末の時点での会員数は正会員90名、一般会員37名の合計127名です。前年度と比べて10名増えました。環境教育出前授業の講師をしていただける気象キャスターやその経験者の方に多数、入会していただきました。会員の皆様にも、知り合いの方を紹介していただき、層の厚い気象キャスターネットワークとなりました。昨年はイベントの数も増え、皆様にはご協力をいただき感謝しております。

2009年も全国の会員の皆様にご参加いただけるような、地域ごとの勉強会やイベントなどをもっと増やせるよう、企画を練りたいと思っています。ご要望や企画案などがございましたら、お気軽に事務局へご連絡ください。

### 総会に参加した会員の皆様

北海道から



関西地方から



中国地方から



東海地方から



関東地方から



東北地方から



九州地方から



### 3. 2008年総会・懇親会

2008年2月23日、気象キャスターネットワーク2008年定期総会が行われました。

会員45名、一般会員5名、計50名の皆様にご出席いただきました。総会では、活動報告・今後の活動予定等をご報告させていただきましたが、会員の皆様が気軽にご参加できるようなイベントや勉強会を増やしていきたいと思っております。2月23日・24日には、総会と同時に様々な講演会や研修を行い、気象によって人体に起こる影響、地球温暖化のウソホントなど、今すぐ使えるお話や、真剣に考えなければいけないことなどをユーモアを交えながら、講義していただき、気象の奥深さ・面白さを再確認できました。

<出席人数>

	総会	懇親会	特別講演1部	特別講演2部	特別講演3部	講師研修会
正会員	45名	40名	42名	40名	44名	41名
一般会員	5名	6名	6名	7名	4名	—



<懇親会・二次会>

会場：KKRホテル東京 白鳥の間

懇親会には、正会員40名、一般会員7名、ご来賓8名、計55名の皆様ご出席いただきまして、盛大なる会となりました。



二次会はスポーツバーでおこない、懇親会とは違った和気あいあいとした雰囲気では盛り上がりました。



<講演会の内容>

1. 特別講演会「熱中症」

講師：産業医科大学 産業保健管理学

教授 堀江 正知氏

協賛：大塚製薬株式会社



2. 気象庁からのお知らせ「竜巻に関する情報について」

講師：気象庁業務課 技術開発計画係

係長 細見 卓也氏

3. 特別講演会「地球温暖化のウソ・ホント」(現状について)

講師：気象庁地球環境業務課 地球温暖化対策調査官

里田 弘志氏

受講者の声

■気象庁 地球温暖化対策調整官 里田弘志さんの講演を聞いて

石掛貴人さん (正会員)

「地球温暖化のウソ・ホント」と題して、実践で使える話を数多くして下さいました。

まずは二酸化炭素1キロの体積は？…答えはサッカーボール100個分でドラム缶(200リットル)だと3缶に相当。正解を選べた人は意外に少なく、私もその一人(すみません)。

また、20世紀後半の北半球は過去1300年間で最も高かった可能性が高く、二酸化炭素の増加ペースは最近10年間でさらに加速していること。猛暑日や大雨日数の近年の顕著な増加などを指摘されていました。

過去の気温上昇をコンピューターを使って再現実験させると、自然起源の要因だけではうまく表現できず、人為起源の要因も含めることで、これまでの昇温状況に近い結果が得られるため、温暖化は90%以上の確率で人為起源とおっしゃっていました。

私たちが今、環境と経済の発展を両立するシナリオを選ぶと、そうでないシナリオを選ぶ場合に比べ、気温の上昇スピードが抑えられ、2つの差は2050年には15年分に相当する開きに広がるそうです。この差は大きいですよ！

これは出前授業でぜひ子供たちに伝えたいです。今、環境に優しいことを始めることによって、子供たち自身が50代になった時に自ら恩恵を得ることができるのだから。

#### 4. 特別講演会「地球温暖化のウソ・ホント」(予測について)

講師：国立環境研究所温暖化リスク評価研究室

江守 正多氏

##### 受講生の声

##### ■国立環境研究所温暖化リスク評価研究室 江守正多さんの講演を聞いて

岡田亜子さん (正会員)

総会で聴講した江守さんの講演会は、私の中で曖昧だった地球温暖化のウソ・ホントについてのあ  
る部分を明確にしてくれた気がします。

未来の気候変化を予測する世界最大級のスーパーコンピューター「地球シュミレーター」について  
のお話では、地球についてのある程度の客観的予測が可能なこと、そして、未来の社会についての  
客観的予測ができないため、人間社会の発展の仕方について4つのシナリオで温暖化の予測研究を  
行っていること、また、地球の温暖化によって私たちは多大な被害をうけることになる可能性が大  
きいことをデータを見ながら教わりました。

今私たちは、インターネットや本屋で温暖化についての多くの情報を簡単に入手することが出来ま  
す。そうした説では、温暖化のウソ・ホントについてが多種多様に唱えられています。そして私  
の中には「最近の異常気象が地球温暖化によるものであるという断言はできない。」という情報から、  
温暖化について曖昧な部分がありました。どこまでが温暖化によるものなのかが分からないからで  
す。これらを立証することは難しいかもしれません。しかし、今回の講演を聞いて、このまま私  
たち人間がエネルギーを無駄に消費し続ければ、住みにくい地球になることは確かだと確信を強める  
ことができました。

これを機に、今後も、常に新しい知識を身につけることに加えて、その情報を正しく使うことが  
できるようにありたいと改めて感じました。



気象庁 細田弘志氏の講演



国立環境研究所 江守正多氏の講演

<講師研修会の内容>

1. 日本財団 海の温暖化出前授業の概要、模擬実験  
講師会員、福田寛之さん（正会員）から説明
2. キリンホールディングス株式会社 地球温暖化と植物出前授業の概要、模擬実験  
講師会員、吉村友宏さん（正会員）から説明
3. 日本通運株式会社 地球温暖化とフードマイレージ出前授業の概要、模擬実験  
講師会員、鈴木秀美さん（正会員）から説明
4. シャープ株式会社 地球温暖化出前授業の概要
  - ① 講師の意見交換、現状の問題点など
  - ② シャープ株式会社岡田淳氏より授業概要のご説明



シャープ株式会社岡田淳氏からの説明



日本通運株式会社出前授業の手回し発電



海の温暖化 海面上昇実験



研修の様子



## 4. 環境教育社会貢献活動

### (1) 地球温暖化出前授業報告

2008年はたくさんの企業から協賛していただき、地球温暖化の出前授業を行ってまいりました。

出前授業の校数 (2008年1月～12月)

シャープ株式会社	528校 (4月～3月 556校見込)
日産自動車株式会社	9校 (4月～3月 15校見込)
神奈川県	3校
財団法人省エネルギーセンター	6校
日本通運株式会社	20校
キリンホールディングス株式会社	1校
日本財団	10校

### 1. シャープ株式会社協働による学校環境教育

2008年もシャープ株式会社と共に、500校を超える全国各地の小学校で出前授業を行いました。下期は、NPO法人アサザ基金の生態系保護のお話も加えた三時間のコラボ授業も11回行いました。

#### ●表彰

#### 1) 新エネ大賞を受賞 (2008年3月)

新エネ大賞の「資源エネルギー長官賞 (最上位の経済産業大臣賞に次ぐ賞)」を受賞しました。授賞式では、シャープ株式会社 副社長執行役員 井淵良明氏と当会の藤森副代表が、活動に参加してくださった皆様を代表して表彰を受けました。

#### 2) オゾン層保護地球温暖化防止大賞受賞 (2008年9月)

シャープ株式会社と連携して平成18年10月から実施している「小学校環境教育」がオゾン層保護地球温暖化防止大賞を受賞しました。シャープ株式会社と共に全国500校以上の小学校で「地球温暖化出前授業」を実施するという環境教育貢献活動が評価されたものです。授賞式では、シャープ株式会社 執行役員営業本部長 岡田守行氏と当会の藤森涼子副代表が、活動に参加してくださった皆様を代表して表彰を受けました。

#### 2) 地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞 (2008年12月)

環境教育部門として、斉藤環境大臣より受賞しました。



## ■シャープ(株)環境教育動講師 体験談

シャープ株式会社 CSR推進本部 社会貢献推進室 主事 深田千晃 さん

2008年度も、皆様方と一緒に沢山の学校に訪問させて頂きました。その授業を通して、子供たちは、大人が思っているより、遥かに環境に対する知識・興味が深いと実感しました。中には、子供たちが質問に対して完璧な回答をしてくれ、感動した学校も多かったのですが、今年度の感動NO.1☆学校は、青森県の西越小学校でした。八戸から、車で約1時間、緑も多く環境に恵まれた学校です。

私たちが到着した時、丁度、お掃除開始のタイミングで、子供たちは、各掃除担当場所の廊下に整列していました。そうすると、校内放送で「今から掃除を始めましょう！」と流れ、その瞬間に子供たちは、「はい！！」と大きな声で返事し、すぐにお掃除に取り掛かりました。

そして、いよいよ環境授業の始まり・・・子供たちは、聞く・書く・見る・体験する・質問する・・・すべてにおいて一生懸命。全員が目が、キラキラと輝いていました！！本来の子供の姿を見られたように思います。と同時に、子供たちから沢山の力をもらいました。

子供たちの力は、偉大です。この力を発揮してもらえるように、これからも子供たちに地球環境について伝え、一緒に取り組めるように頑張っていきたいと思います。

そして、すべての出会い一つ一つを大切にしていきたいと思います。



(西越小学校には、写真及び学校名の掲載について、ご了承頂いております。)

## 2. 日産自動車株式会社と協働の出前授業 ～日産わくわくエコスクール～

2008年7月から、日産自動車株式会社と協働の出前授業をスタートしました。

◆実施校 神奈川県内の学校、延べ9校（7～12月）

※厚木市（日産テクニカルセンター）周辺、横浜市（日産本社機能 2010年～）周辺

◆授業内容 地球温暖化の問題や、未来のエネルギーについて考える、約3時間の授業です。

・1時限目 最近の気象と地球温暖化について

WCN講師が担当、実験アシスタント1～2人（会員・学生）



・2時限目 燃料電池キットカーの組み立て

日産社員の方が担当

WCN講師・アシスタントも一緒にお手伝いです



・3時間目 未来のくるま「X-TRAIL FCV」に試乗

日産社員の方が担当

WCN講師・アシスタントも試乗させて頂きました！



### ■日産自動車株式会社出前授業 講師体験談

鶴田由香さん（正会員）

1度目は、学校のイベントにあわせて、生徒が興味のある講座を選ぶというものでした。そのため、環境に興味のある生徒が数多く集まり、とても反応が良かったと思います。中学生ということもあり、自動車模型の組み立ても、構造を理解したうえで注意深く取り組んでいました。目をキラキラさせていたのが印象的でした。

2度目は小学校で、校庭での試乗が実現しました。児童たちの心には、『エコってすごい』『カッコイイ』という意識が大きく広がったのを感じました。私たちキャスターからの話は、地球環境について考えるきっかけとしてのエピソードが中心ですが、体験によって生まれた新鮮な気持ちとともにずっと心に残っていてくれれば良いなと思います。



### 3. 省エネ家電フォーラム応援団学校訪問イベントへの参加

日時：2008年7月11日～17日

場所：学校訪問

2008年7月、省エネ家電普及促進フォーラム（※1）の学校訪問イベントの講師として、参加しました。愛・地球博の公式キャラクターだった「モリゾー&キッコロ」と一緒に全国6都府県の6校の小学校に出向き、楽しい雰囲気の中で「地球環境問題と省エネルギーについて」の特別授業を実施しました。

※1）省エネ家電普及促進フォーラムとは

省エネ家電製品（エアコン、冷蔵庫、照明など）の普及を促進としていくことを目的として設立されたフォーラム。家電製造事業者、家電小売事業者、消費者代表など、趣旨に賛同する企業が参加。フォーラムの事務局は、（財）省エネルギーセンターに設置されています。

#### ◆授業内容

- ・1時限目 「地球温暖化と省エネ」の座学
  - ・WCN講師が担当、授業の最初と最後にモリゾー&キッコロ登場
  - ・実験…手まわし発電
- ・2時限目 モリゾー&キッコロとのふれあいタイム
  - 文字通り、モリゾー&キッコロに触る時間



#### ◆授業の感想

酒井紀子さん（正会員）

シャープさんとの出前授業は何回も担当させていただき慣れていたつもりですが、今回は何しろあの大人気者のモリコロと一緒にイベント！自分自身も少しワクワクし緊張ぎみでした（笑）授業の前にモリコロ登場。なぜモリコロが来ているのか説明し、その後は子供たちに授業に集中してもらうため、モリコロには一度退室してもらいました。授業内容はいつもとほぼ同じでしたが、手回し発電実験も含め45分だったため、かなり内容を縮めてちょうど。欲を言えばもう少し余裕がほしかったです。

ひとつ思ったことは、今後も省エネイベントをお手伝いするならば省エネ家電についてキャスターもある程度勉強したほうがいいのかもしれません。お昼休みのモリコロとのふれあいタイムはもちろん大盛況。とても楽しい授業でした。参加させていただきありがとうございました。



#### 4. キリンホールディングス株式会社協賛の出前授業

2007年7月～2008年2月

【地球温暖化防止の出前授業】  
～地球温暖化と緑の役割の話～

小冊子「地球温暖化のおはなし」の内容を踏まえて授業を行いました。気象キャスターや気象予報士が全国の学校を訪ね、地球温暖化や緑の役割と大切さを伝えました。



授業内容は

- ・ 最近の異常気象や気象災害などの身近な話題
- ・ 地球温暖化の原因やしくみ
- ・ 緑の役割
- ・ 温暖化による日本での植物の変化・影響
- ・ 二酸化炭素の量の変化や温度を測定する実験
- ・ 植物を使用した光合成実験
- ・ クイズ
- ・ 私たちが出来ること

#### 5. 日本通運株式会社協賛環境教育活動

日本通運株式会社様協賛による地球温暖化出前授業を2008年2月5日～3月21日にかけて東京18校、北海道2校、行いました。

##### ■日本通運株式会社 環境教育活動講師 体験談

鈴木秀美さん（正会員）

2008年の2月から3月にかけて、日本通運さんの提供でフードマイレージをテーマにした「地球温暖化と私達の暮らし」という環境授業を行いました。折しも中国製冷凍食品への農薬混入事件で「輸入食品」や「食の安全」に関するニュースが毎日のように報道されている中、子供達にも身近なテーマだったようです。ただ、日本が多くの食料を輸入しているのは知っていても、その輸送中に大量にCO<sub>2</sub>が排出され、それが温暖化につながっているのは初めて聞いた、あるいは考えた事がなかったという子が大半でした。

後半、班ごとに手回し発電機でラジコンカーを走らせる実験では、どの子も目を輝かせて参加していました。最初は遊び感覚でやっても、次第に自分達で回す時間や速度を変えたり、おもりの個数によって必要な力がどのくらい変わるか試したりと、こちらが思った以上に積極的に課題を見つけて取り組んでいたのがとても印象的でした。

電気やガス・自家用車など直接的なCO<sub>2</sub>排出と違って、輸送等による間接的なCO<sub>2</sub>排出はまだ社会的にも認知度は低めです。「地産地消」などが注目されつつある今、ぜひ、また機会があれば取り上げたいテーマだと思います。

## 6. 神奈川県の出前授業

2008年9月より、神奈川県の新エネルギー・省エネルギー学校派遣授業として、県内の小学校をまわり、環境出前授業を実施しました。地球温暖化の原因や仕組みや影響、実際に発生した気象現象など、実験を交えて学習します。また、環境にやさしい生活、省エネルギーを心掛ける生活を考えます。

実施校	9月3日	横浜市立本郷小学校	講師	竹田宜人さん（正会員）
	10月10日	綾瀬市立早園小学校	講師	平井史生さん（正会員）
	10月27日	横浜市立下瀬谷小学校	講師	田代優美さん（正会員）

### ■神奈川県新エネルギー・省エネルギー講師 体験談

竹田宜人さん（正会員）

神奈川県「新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業」は、地球温暖化対策の一環として、学校教育を通じ地域社会の新エネルギー・省エネルギーの普及啓発、導入促進を図るため、新エネルギー・省エネルギーに関して豊富な知識・経験を有する県内の団体等みなさんに、小・中学校、高校等で実験等を交えた体験型の授業を実施するものです。（神奈川県ホームページより）WCNはその団体の一つとして平成19年度から継続して出前授業を実施しています。

平成20年度は、「地球温暖化と毎日のお天気」と題して、神奈川県内の3校を担当しました。そのうち、9月3日（水）に行われた横浜市立西本郷小学校では、6年生93名に対して、午前中2時限を使って実施されました。残暑の体育館でありましたが、サポート3名の支援を得て、平成20年の夏の特徴（多発した雷雨や早い富士山の初雪、北海道の低温）から、クイズ、ペットボトルを使った二酸化炭素による温室効果の確認実験と進みました。

無事終了、と言いたいところでしたが、後日、県を經由して届けられた学校側からのアンケートでは、温室効果実験で温度差が小さいことへの不満が述べられていました。すぐに、学校へは、理論的にも温度変化が小さいことをお手紙でお伝えしましたが、事前に実験の趣旨や理論的裏づけを伝えることの必要性も感じました。皆様ご経験のとおり、準備時間も先生とのコミュニケーションも不十分なことも多い出前授業です。一つの反省事例として、ご参考にいただければ幸いです。



## 7. 幼稚園出前授業

(WCN単独開催)

タイトル：地球温暖化防止出前授業

日時：2008年6月12日（木）

2008年7月14日（月）

場所：神奈川県 宮崎台幼稚園

神奈川県 江田南幼稚園



メンバー 田代 大輔さん

鈴木 秀美さん

吉村 友宏さん



気象キャスターネットワーク初の幼稚園出前授業

パネルを使用しての授業

時間は45分間

\*天気の話

好きな天気の色を描いてもらいます。

\*雲や積乱雲・雷の話

ペットボトルで雲を作ってもらいます。

\*地球温暖化の話

\*省エネの話

手回し発電機・無駄探しチェック。



### ■講師体験談

鈴木秀美さん（正会員）

はじめにこの話を聞いた時は、はたして幼稚園児に温暖化が理解できるのか、わからなくて退屈してしまうのではないかと、かなり不安がありました。でも、実際やってみると全くの杞憂で、パワフルな園児達70人に囲まれてのあっという間の40分間でした。

パワーポイントは使わず、お絵かきや実験（雲作りペットボトルや手回し発電）をメインにパネルを使って進めましたが、一つの言葉、一つの動きに面白いくらい素直に反応してくれます。「地球が風邪をひいて熱が出ているのが温暖化」という説明に、「じゃあ（地球に）やさしくしてあげなきゃ」「電気とかをあんまり使わないようにする」と言ってくれた子供達。CO2や温室効果などの言葉は知らなくても、大切な事はきちんと分かっているんだなと実感でき、私にとっても有意義でとても楽しい時間でした。

## (2) イベント報告

- 2月 定期総会
  
- 4月 パナソニック・キッズスクール
  
- 5月 TBS イベント「温暖化教室」エコ Boo と学 Boo  
気象環境ツアー「火力発電所見学ツアー」
  
- 6月 北海道環境総合展  
エコライフ・フェア 2008
  
- 7月 自然体験学習（埼玉県加須市）
  
- 8月 なごや環境大学 親子講座  
夏休み親子環境講座（品川区）  
夏休み親子環境講座（伊藤忠商事株式会社）  
ていぱーくイベント  
江東区イベント
  
- 10月 広島スポーツレクリエーションフェスティバル  
山口県フェスティバル
  
- 11月 電気事業連合会（東京・大阪・名古屋の3回実施）
  
- 12月 エコプロダクツ2008  
省エネ家電フォーラム



## 1. お天気キャスターと楽しみながら学ぶ「地球温暖化とエネルギー」

(電気事業連合会共催)

電気事業連合会との共催イベントを東京、大阪、名古屋の3会場で催し、合計400人近い親子連れが集まりました。東京電力、関西電力、中部電力と協力し、各地で活躍する気象キャスターが一堂に会す大掛かりなイベントで、各会場とも盛況のうちに終わりました。

### ◆ 日時と場所

- ・平成20年11月23日(日) 大阪科学技術センター 大阪科学技術館
- ・平成20年12月20日(土) でんきの科学館(名古屋)
- ・平成20年12月23日(祝) 電力館(東京)

※1日2回…午前(10時30分～12時10分) 午後(13時30分～15時10分)

### ◆ 内容

#### ➤ 講演(50分～60分)

#### ➤ トークショー(15～30分)

#### ➤ 体験コーナー(お天気実験にチャレンジ)(15～20分)

- ・お天気キャスター体験・雨の観察・雲づくり体験・二酸化炭素測定・手まわし発電・温暖化実験
- ・たつまき実験

### ◆ 大阪イベントについて(11月23日)

- ・イベント参加人数 親子連れ中心に116人(午前:55人、午後61人)
- ・講演の感想

[井田寛子さん(正会員)]

予想以上に子供たちの反応が良くてとても話しやすかったです。聞くところは聞く、盛り上がるところは盛り上がる、ご両親も一緒に楽しんでくれていたように思います。人数や会場の広さも大きな声をだせば届くくらいで丁度よかったです。簡単な実験を細かく分けて組み入れることで、「参加型」になり、メリハリのある時間になったように思いました。とても素直な子供たちだったので、何かを得て帰って欲しいという思いで、私自身も夢中になっていました。子供たちに感謝したいです。

[水越祐一さん(正会員)]

このたびは、WCNのイベント初参加でメイン講師をやらせていただきました。当日は関西の講師の方にも助けていただき、何とか無事に役を務めることができました。ありがとうございます。見知らぬ子が集まっているのにもかかわらず、あれだけ場を盛り上げることができるのは、さすが大阪っ子は小さい時から鍛えられ方が違うな、と感じました。子どもたちのパワーに、大船に乗った気分楽しくイベントを進めることができました。



◆ 名古屋イベントについて（12月20日）

- ・ イベント参加人数 親子連れ中心に109人（午前：52人、午後57人）
- ・ 講演の感想

[大隅智子さん（正会員）]

まず、私自身大変感動しました。授業をしながら、子供たちの熱気をすごく感じました。今回盛り上がった要素の一つに、大勢の気象キャスター（東京から4人、東海から9人）が一堂に集まったことがあると思います。また実験コーナーの充実がよかったです。参加者全員が、8つの全ての実験を最後に回って体験でき、各コーナーで気象キャスターが教えてくれるというのはとてもいいと思いました。子供たちはとても楽しそうでした。ぜひ次回も開催したい素晴らしいイベントだったと思います。

[山田修作さん（正会員）]

最後の実験参加は自由移動とはいえ、授業全体は100分ぶっ通しなため、途中休憩は、あったほうがいいと思いました。ただし、『温暖化の講義』と『トークショー』の間に入れるのではなく、例えばクイズの問題を出して、正解を発表する前に休憩を入れるなどすると、楽しいかな、なんて思います。



◆ 東京イベントについて（12月23日）

- ・ イベント参加人数 親子連れ中心に164人（午前：83人、午後81人）
- ・ 講師の感想

[平井信行 代表]

皆様のご協力のお蔭で子供たちとの楽しいひと時を過ごすことができました。親御さんからは今度はいつやるのですか？とまたの機会を楽しみにしているようでした。これまでのノウハウの蓄積と経験豊かなスタッフ、機材の充実がイベントを盛り上げたと思っています。

[瀧岡友美さん（正会員）]

小学校低学年の子も多く、少し難しいところもありましたが、みんな楽しそうに取り組んでくれました。スクリーンが大きいこともあって、パワーポイント中で動画を積極的に使っていくことで、より関心を惹いたように感じました。自由ブースでの実験は、私はクロマキーでの気象キャスター体験コーナーにいのですが、親子でポーズを考えたり、真剣な表情で取り組んだりしているのを見て、こちらまで新鮮な気持ちになりました。



## 2. ていぱーくイベント

日時：2008年8月16日～31日（15日間）

場所：通信総合博物館（東京都大手町）

### ●ていぱーくステージトークショー

～お天気を知ろう！ 地球温暖化を考えよう！～

夏休み後半のていぱーく（通信総合博物館）での催し物の1つとして、NHK出演中の気象キャスターによる、親子連れを対象としたトークショー（講演形式）を行いました。豪雨が目立つ天候不順の夏のイベントでしたが、参加頂いた親子連れの皆様には大変満足して頂きました。

◆ 日時：平成20年8月16日（土）、17日（日）、31日（日）

いずれも14時～15時の1時間

◆ 担当：16日 檜山靖洋さん（正会員）、17日 濱岡友美さん（正会員）、31日 関嶋梢さん（正会員）

◆ 場所：通信総合博物館ていぱーく 地下2階講堂（180人収容）

◆ 内容：ていぱーく夏休み2008“夏のこどもスタディステージ”

～お天気を知ろう！ 地球温暖化を考えよう！～

➤ パワーポイントを利用し、クイズや実験を交えた講演形式



➤ 実験…ペットボトルで雲を発生

二酸化炭素簡易測定器で、息の二酸化炭素濃度を測る

大きな風船で、息や家庭から出る二酸化炭素の量を見せる

◆ ステージイベント参加者数（推定）

16日（土）…約120人、17日（日）…約60人、31日（日）…約80人

いずれも親子連れが中心

◆ 講師の感想

【檜山靖洋さん（正会員）】

多くの人に来ていただき、子供たちも真剣にメモを取ったり、挙手をして参加してくれたり、とても話しやすかったです。私としては初めての講演でしたが、とても助かりました。

【濱岡友美さん（正会員）】

講演会場も広すぎるくらいだったのですが、一人ひとりの表情や反応がわかったのがよかったです。実験は講演のスパイス的要素なので、今後は、大きな会場でもわかりやすい実験を増やしていくことが課題だと思いました。

【関嶋梢さん（正会員）】

きてくれた皆さんが、しっかり話に“参加”してくれたのが、何よりうれしかったです！子供たちはもちろんですが、お父さんお母さんたちも子供と一緒に反応してくれていたのがステージからもわかりました。イベントにくる時点で何かを学ぼうとして来てくれているせいか、非常に話し甲斐のあるオーディエンスでした。



## ●ていぱーく夏休み宿題対策講座

タイトル：竜巻の仕組みを知ろう

日時：平成20年8月16日（土）17日（日）30日（土）31日（日）

1日3回 11:00～12:00 13:00～14:00 15:00～16:00

定員：30名

1st ステージ：吉村 友宏さん（正会員）

2nd ステージ：鈴木 秀美さん（正会員）

3rd ステージ：長島 純子さん（正会員）

今、世界で猛威をふるっている竜巻のメカニズムを解説し、発生の原因を探ります。  
実験はペットボトルと割り箸、モーター、ドライアイスを使って竜巻を発生させます。





### 3. パナソニック・キッズスクール (パナソニック株式会社)

タイトル：「気象キャスターから学ぶ！  
温暖化ってなあに？」

日時：2008年4月29日（祝・火）  
場所：パナソニックセンター東京（大ホール）  
1st ステージ：平井 信行 代表  
2nd ステージ：藤森 涼子 副代表



最近の天気の話から地球温暖化の話まで、気象キャスターの目線から詳しく説明。地球温暖化の原因ともなる二酸化炭素を生活の中で出さない為には・・・

省エネ  
での無  
エック。



や生活の中  
駄探しをチ

#### ■ イベント参加者の感想

事務局スタッフ 渡部 圭吾さん

2008年4月29日（祝）、東京・有明のパナソニックセンター東京にて、パナソニック様との共催「気象キャスターから学ぶ、温暖化ってなあに？」が開催されました。親子100組以上が参加し、地球温暖化や気象をクイズや実験を交えて学びました。

今回のイベントでは、2008年4月より当会で活躍している早稲田大学ボランティアセンターの学生が初めて参加しました。お客さんを会場へ案内したり、配布物を子供たちに配ったりと、積極的に手伝ってくれました。イベント終了後、学生たちが「子供と接する機会が無いのでとても勉強になりました」と話していたのが印象的です。また、来場した子供たちも、学生のお兄さんやお姉さんに親近感を持っていたようです。

今年も環境教育に関心を持つ学生が気軽に参加できるようなイベントや授業を増やしていきたいと思いました。

#### 4. 「地球温暖化教室」エコ Boo と学 Boo (TBS)

日時：2008年5月3・4日(土・日)

場所：赤坂サカス屋外ステージ

司会：TBSアナウンサー 小林豊さん(正会員)

アシスタント：岡田亜子さん(正会員)

参加してくれたのは事前にインターネットで公募した小学4年生～6年生と親御さんと余裕があれば当日参加もありで30人～40人程度を舞台上げての講演で、舞台の下にも60人～80人くらいの見物客がいたと思われ、とても大盛況のイベントとなりました。

内容

- ①地球温暖化この百年で+0.7℃グラフ解説
- ②南極のペンギンの雛が昇温で弱っているVTR(どうぶつ奇想天外DVDから)
- ③ホワイトボード上でマグネットの地球大気断面の模型を組み立ててもらい(5人程度)ながら、大気の構造と自然と人間生活の何処で二酸化炭素が排出されているかを解説
- ④大気中の二酸化炭素がどのくらい増えたかの？1969年～2006年までのグラフ解説
- ⑤本当に二酸化炭素は温室効果があるのか？空気 VS 二酸化炭素の照射実験で参加者には温度の観測を担当してもらう(4人)
- ⑥人間一日に一人当たりどのくらいの二酸化炭素を吐き出しているのか 風船(直径80cm)を膨らませて触ってもらう(全員)
- ⑦ホワイトボードの地球大気断面模型で家庭・車などから風船何個分の二酸化炭素が排出されているかのクイズ家庭(6個：電化製品、6個：その他)・車(6個)・家族4人(4個)
- ⑧ではどう二酸化炭素を減らすのか？少エネルギー実験として手回し発電機で蛍光灯 VS 白熱球どちらが楽に点灯するかを体験してもらう(5人)。100ワットの白熱球を全員で手回し発電機を直列して点灯させてもらう
- ⑨最後はエコ Boo(TBSのキャラクター)チェックと題し、省エネ生活の薦めや今日帰って家でチェックするポイントなどをフリップで紹介
- ⑩エコ Boo 特製 My はしを全員に配り

#### ■感想

小林 豊さん(正会員)

結果成功でしたが、⑤の二酸化炭素実験は屋外での実績が無かったので大変心配でした。水蒸気の温室効果が二酸化炭素を上回る可能性があった為、藤森涼子さんと田代大輔さんには実験セットに付きっきりで面倒を見ていただきました。感謝。常に成功するよりもどうなるかわからない感が、やっている側としてもモチベーションと一体感を高めたようでした。



## 5. 夏休み環境教育（伊藤忠商事株式会社）

日時：2008年8月4日5日

場所：伊藤忠商事株式会社東京本社

講師：鈴木秀美さん（正会員）

仲宗根朋美さん（正会員）

長島純子さん（正会員）

岡田亜子さん（正会員）



伊藤忠商事株式会社主催による地球温暖化防止 夏休み講座が8月4日・5日の2日間行われました。2日間とも定員を超える30人近い子供たちが集まってくれました。

ありがとうございます。

夏休みのイベントに集まる子供たちは温暖化の事をよく勉強しています。質問に対して即答、大人顔負けの回答です。または、たくさんの子供たちが手を挙げてくれます。実験は、二酸化炭素実験、フラスコを使った海面上昇実験、手回し発電機、地球儀バルーン、エコうちわ作成などなど盛り沢山の内容ですが、子供たちは実験を楽しく体験してくれました。





## 6. 夏休みこども環境学習講座（品川区）

日時：2008年7月25日（金）、2008年8月9日（土）、2008年8月24日（日）

場所：品川区環境活動センター

今年で2回目の夏休み親子講座は、定員が30名でしたが、すべての講座で30名以上の応募があり、前回に続き人気の講座になりました。夏休みということで自由研究の課題にする子供たちも多く、とても熱心に聞き入っていました。

### 1回目

○テーマ「夏を涼しく過ごそう」

長島純子さん（正会員）

- ・全国の最高気温の話
- ・地球温暖化によって起こる影響
- ・植物への影響
- ・二酸化炭素と植物の関係

○実験「光合成実験」「放射温度計」

○工作「エコうちわ作り」



### 2回目

○品川区環境活動センター大島様より挨拶

○テーマ「色々な所に影響が」

福田寛之さん（正会員）

- ・気温上昇による体内への影響
- ・海の温暖化
- ・海の生態系の変化
- ・台風の巨大化と竜巻の発生

○DVD「熱中症」「ツバル」

○実験「海面上昇」「竜巻発生」



### 3回目

○品川区環境活動センター大島様より挨拶

○テーマ「エネルギーと食べ物」

鈴木秀美さん（正会員）

- ・二酸化炭素の話
- ・私たちの生活とエネルギーの関係
- ・フードマイレージ
- ・旬の食べ物とエネルギーの関係

○クイズ「フードマイレージ」「旬の野菜」

○工作「雲地球儀作り」

○実験「手回し発電機でラジコンカーを動かす」





私は環境授業を始めて1年が経ちますが、この1年間で子供たちの環境に対する意識は常に向上し続けています。「地球温暖化が進むとどうなるのか？」なんて質問はすらすらと答えてしまい、関心するばかりです。地球温暖化が世の中に浸透し、かつ防止しようという意識が強くなっている表れだと思います。

今回の品川区講座では、3日間それぞれ内容を変えて様々な実験を交えながら地球温暖化のお話をしました。1回目は、夏を涼しくするためにはと題し、植物の光合成や放射温度計を使って色々な場所の温度を測りました。特に、放射温度計では地面の鉄の部分は60度を超えるような所もあり、子供たちは驚きを隠せない様子でした。2回目は、地球温暖化による様々な影響と題し、陸地だけではなく海も温暖化していて生態系が変わってきていることや、気温が高くなると地球だけではなく、人間の体にも影響を及ぼすことを話しました。小学生にとって海の温暖化の話は少し難しいとは思いましたが、知らないことが多かったようなので小学生にも海のお話をするのも良いのではないかと思います。3回目は、エネルギーと食べ物と題し、地球温暖化とエネルギーの関係やフードマイレージの話をしました。実験では、エネルギーを作るのは大変だということをわかってもらうために手回し発電でラジコンカーを動かしました。クイズでは、本物の野菜を使って旬を答えてもらいましたが、最近ほとんどの野菜が年中出回っているので、旬がわからなくなっているのが現状でした。子供たちは、地球温暖化の大まかな事は知っていても、一歩踏み込むとまだまだ知らない事はたくさんあると思います。WCNには色々な実験道具が揃っているので、今後も親子講座等で地球温暖化や天気の話を実験を交えながら伝えていければと思います。

## 7. 広島スポーツレクリエーションイベント（自主事業）

### 第14回広島市

スポーツ・レクリエーションフェスティバル

日時：2008年10月12日（日）

場所：広島ビッグアーチ

参加者： 広島メンバー 波田 健一さん（正会員）  
村上ゆみえさん（正会員）  
中井 佳絵さん（正会員）  
東京メンバー 田代 大輔さん（正会員）  
吉村 友宏さん（正会員）



市民レベルのスポーツ・レクリエーションの祭典で、広島市のスポーツイベントとしては初めて「優しい地球環境づくり」を目指したエコ活動を取り入れた。

今回はステージイベントのトークショー・屋内ホールでの出前授業・屋外での出展をしながら、地球温暖化防止や環境保護を訴え、当会の存在をアピールした。



### ■ 講師の感想

波田 健一さん（正会員）

10月12日、「広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル」がアジア大会のメイン会場である広島ビッグアーチで開催されました。日本オリンピック委員会がチーム・マイナス6%に協力していることから、今年は広島のスポートイベントでは初めて「環境」をテーマの中に取り入れられました。そのため、早くからWCNに参加依頼がありました。

広島市スポーツ協会からお手伝いを、脱温暖化センターひろしまからは環境問題などに関するパネルや資料の提供をいただきました。

WCNのブースでは、地球温暖化に関するパネルなどを展示。また雨粒実験装置や竜巻発生装置、手回し発電機などの実験道具のデモもありました。またほぼ1時間おきに、文字通りの「出前授業」も実施。1000人近い人たちにお立ち寄りいただきました。その他、ステージにも気象キャスターが乱入し、地球温暖化防止とWCNをしっかりとアピールしてきました！おかげで既に09年度のオフ会もいただいています。日程の都合でこのたびはダメだったのですが、今年はサンフレッチェ広島の選手も何人か引っぱり込んで、地球温暖化防止をよりいっそうアピールしたいと思っています。

## 8. 地球だい好き環境キャンペーン (山口県フェスティバル)

日時：2008年10月18日(土)  
タイトル：空から見る地球温暖化  
場所：きららドーム  
出演：瀧岡 友美さん(正会員)



### NHK 環境トークショー

気象キャスターの視点から地球温暖化についてお話  
です。

クイズや実験を交えながらの参加者体験型ステージで、クイズ正解者にはエコバックをプレゼントしました。

#### ■ 出演講師の体験談

瀧岡 友美さん (正会員)

去る10月18日に、山口県の「きらら浜スポーツ公園」で行われた環境イベント「地球だい好き環境キャンペーン」に参加してきました。

午前中は、NHK山口局による30分間の生中継番組(県域放送)への出演。午後は、環境ステージで、天気や温暖化についてのトークショーを行いました。

##### ● 午前中の生中継番組

会場内の物産ブースをアナウンサーと歩き回りながら、レポートを行いました。構成を知ったのは前日リハのときが初めてでかなり心配でしたが、本番は楽しめて良かったです。

ただ、酸性雨についてなど、事前リサーチが必要な内容もあり、あらかじめ分かっていたらもう少し安心して臨めたと思います。

##### ● 午後の環境ステージ(60分程度)

WCN吉村さんの力添えのもと、クイズ形式で、実験をまじえながら行いました。山口県の気象に関わる内容も盛り込みました。実は、会場の関係でパソコンが使えず、事前にクイズ原稿を先方に送り、それを巨大な模造紙に印刷してもらおうという方法をとりました。当日は、それをめくりながら進めたのですが、動きがでるし、意外と見やすかったように思います。

対象は子供向けの予定でしたが、実際は年配者層が多かったです。それでも積極的に参加していただき、山口県の皆さんの温かさを感じました。

振り返ってみると、放送とステージを両方つづけて行うのは、かなり準備や切り替えが大変でした。

現地入りする前には予想しなかった内容も多く、講師だけでは対応しきれない

ことも多かったので、サポートの方が一人ついてくださる有難さを実感しました。

でも、こうした地域イベントに参加できたのは、とても貴重な体験でした。その地方の気象や地域特性を学ぶチャンスにもなり、仕事や出前授業などにも生かしたいと思いました。

## 9. 大阪環境イベント

タイトル：気象キャスターによる「環境なぜなに教室」

日時：2008年7月21日（祝・月）

場所：三井アウトレットパーク 大阪鶴見 3F プラザステージ

1st ステージ：井田 寛子さん（正会員）

2nd ステージ：南 利幸さん（正会員）



気象キャスターが地球温暖化や海の温暖化などの環境問題について疑問に思う事を分かり易くお話ししました。

実験やクイズを交えながら、楽しく学んで頂きます。また、クイズに正解すると素敵な景品もプレゼントしました。



## 10. 霞が関こども見学デー（気象庁）

日時：2008年8月20日（水）21日（木）

場所：気象庁

クロマキーを使って、お天気キャスターを子供たちに体験してもらいました。1日目は約80人、2日目は約200人の子供たちが体験してくれました。





## 1 1. 北海道環境総合展 2008

タイトル：地球温暖化とリサイクル～地球温暖化をクイズと実験で学ぼう！～

日時：2008年6月19日～21日

場所：札幌ドーム・エコ体験広場

講師：菅井貴子さん（正会員）

中井美雅さん（正会員）

三好真紀さん（正会員）

洞爺湖サミットに合わせて、札幌ドームで環境イベントが開催。

これは3日間で8万人以上が来場する大きなイベントで、会場内のエコ体験広場にて、シャープ株式会社と協働で、「地球温暖化とリサイクル」についての環境講座を実施しました。

北海道のキャスター9名と東京から岩谷忠幸さん、藤森涼子さんも駆けつけ、全員で力を合わせて実施、途中、モリゾーとキッコロの登場もあって、盛り上がったイベントとなりました。



## 1 2. 親子で学ぼう、地球温暖化～夏休み特別講座～

なごや環境大学 2008 年度前期講座（協力：大塚製薬株式会社）

日時：2008 年 8 月 23 日 土曜日

場所：名古屋環境大学

名古屋が目指すべき「環境首都」、そのプロジェクトの一つで名古屋市が行っている市民講座へ今年で 3 回の参加となります。気象キャスターネットワークでは「地球温暖化防止」をテーマにこの講座にて授業を行いました。

地球温暖化に関する講義と、その中の一部で「熱中症」について取り上げ、実際に熱中症にかかった時はどうすればよいのかなど、親子で学んでもらいました。



### ◆講演の感想

杉山範子さん（正会員）

「なごや環境大学」は市民・NPO・企業・大学・行政などが協働で、地球環境社会を支える人づくり・人の輪づくりを行う場です。気象キャスターネットワークでは、2006 年から親子を対象とした講座を開講し、2008 年で 3 年目となりました。講座は地球温暖化問題を親子で楽しく学んでもらうことを目的とし、私たちのメンバーが持っているスキルを総動員して、毎年、参加型のプログラムを企画しています。

今年は、新たな企画が 2 つありました。1 つは、熱中症のプログラム。親子で熱中症の対策を実演しながらチェックするというものです。企画当初は、一緒にやってもらえるの？と不安でしたが、当日は子供も大人も真剣そのもの！情報を一方的に聞くだけの座学とは違い、実際に体を動かしながらのプログラムはいざという時に役立つでしょう。もう 1 つは、授業最後のクイズを地元テレビ局の人気番組だった「天オクイズ」形式にしたこと。クイズの答えを、○×のついた大きな帽子をかぶって回答するのです。正解がわかるまで帽子をかぶって待つドキドキ感が楽しめました。

また、メ〜テレのお天気キャスター、山田さんと虫鹿さんが番組作りの裏側を 1 日の写真を交えた楽しいトークで紹介し、講座を一層盛り上げました。

2009 年度は「生物多様性と食」をテーマにした講座を企画しています。どんな講座になるのか、どうぞご期待下さい！

### 13. 自然体験型環境講座（協力：糧工房）

～気象キャスター&有機農家による親子教室～ ”自然の恵みに触れてみよう！体験型環境学習”

日時：2008年7月5日（土）、8月2日（土）、9月6日（土）

場所：埼玉県加須市（糧工房）

#### 第1回 「雨の不思議と地球の水 ～貴重な雨水を活用しよう！～」

雲や虹を見たり、雨粒の形を確かめたりします。また、地球の貴重な水資源について考えます。雨水を集める工夫を学び、雨水や井戸水を使ってみます。庭の水と土をつかって赤米の植木鉢水田を作ります。



#### 第2回 「太陽の恵みを利用しよう！」

生命の源である太陽。地球環境を考える上で、この力を有効活用しない手はありません。そこで、今回は太陽熱で簡単な料理を作ってみたり、太陽エネルギーで電気を発生させたりします。太陽の力を使って、ドライ・ベジタブルにも挑戦してみましよう！さらに、暑い夏を自然やさしい方法で、涼しく過ごす方法についても考えます。



#### 第3回 「大地の恵み、僕らの食生活は自然に支えられている」

母なる大地。古今東西、健やかな大地は動植物を育み、食を考える上で大切な存在です。今回はパン作りや堆肥作りを通じ、私たちが自然の中で生かされていることを実感してみましよう。また、地元で育てた食べ物を食べる「地産地消」について、地球環境や省エネの視点から考えます。





## 14. エコライフフェア 2008 (東京都環境局)

2008年6月7日(土)・8日(日)・13日

会場：代々木公園

### 【実施内容】

#### <ミニ出前授業>

- ・1日5回の授業・1回約15分

座席は20席で椅子はほとんど埋まりました。

授業の最後には参加者全員に太陽の光に当てると色が変わる紫外線ビーズをプレゼントしました。



#### <エコうちわ>

- ・エコうちわ作り

#### <クイズラリー>

・大人の方々も多く来店されて、クイズラリーを楽しんでおられました。展示物への質問やクイズの答えのヒントを求められたりと、その会話の中から温暖化のお話やツバルのお話などから話が広がり、お客さんからも貴重な情報を頂くなど、良いコミュニケーションが取れました。



#### <クロマキー天気>

- ・2日間合わせて500人以上の方がクロマキーを体験。  
写真のプレゼントは喜ばれました。



#### <放射温度計>

- ・代々木講演の温度を測る

#### <気象観測器>

- ・気象観測体験

#### <植物の光合成実験>

- ・植物を使用した光合成実験
- ・二酸化炭素の量の変化や温度を測定する実験
- ・



#### <小冊子配布>

- ・地球温暖化防止の小冊子を配布

#### <トークショー>

地球温暖化についてのお話

- ・ 瀧岡友美 (おはよう日本 気象情報出演)
- ・ 田代大輔 (2006年までNHK出演)





## 15. エコプロダクツ 2008

～地球と私のためのエコスライスフェア～

日時：2008年12月11日(木)・12日(金)・13日(土)

会場：東京ビックサイト 【東展示場】

10年目の今年は過去にない数で750社・団体を超える企業やNPOなどが出展しました。東京ビックサイト、東館の6ホールすべてを使用しての大規模なイベントです。

当会の出展内容は

- ・お天気キャスター体験（雲や天気マークとの合成写真）
- ・雨粒浮遊装置
- ・竜巻発生装置
- ・手回し発電機による電球比較
- ・手回し自動車
- ・二酸化炭素濃度測定 などの体験コーナー



ブースへ足を運んで頂いたお客さん数は

11日(木) 約700人

12日(金) 約750人

13日(土) 約950人

3日間の合計約2,400人と驚くほど多くの方々が来て下さいました。

子供たちは雨粒の形に驚き、お天気キャスター体験ではクロマキーシステムを笑顔一杯に楽しんでいました。私たちはこの笑顔に癒されていました。

この様な大きなイベントに出展する事は初めてでしたが、関係のある企業やお世話になった企業・団体の方々にお会いする事が出来ました。

そして、様々な企業・団体さんと知り合う事が出来、気象キャスターネットワークの名前を多くの方々に知って頂く事が出来ました。



## 16. 気象環境ツアー「火力発電所見学」（電気事業連合会協賛）

日時 平成20年5月17日（土）  
視察場所 東京電力川崎火力発電所  
参加者 23名（正会員19名、一般会員4名）

電気事業連合会のご厚意により、標題のツアーを企画頂きました。  
気象キャスターネットワークでこのような見学会を催したのは初めてでしたが、北は北海道から南は鹿児島まで、全国各地から会員が集まり、大変意義のある交流の場となりました。

- ① 座学で川崎火力発電所の環境対策、発電の仕組み、エネルギー効率を教えてくださいました。
  - 1) 東京電力の供給について
  - 2) 川崎火力発電所について
- ② 見学



### ■火力発電見学参加者の声

今村 聡さん（正会員）

「地球温暖化を食い止める最もいい方法は、人類が原始時代の生活に戻ることです。明日から一切の電気製品は使わず、そして学校へはバスや電車を使わず歩いて通学しましょう！」このように言いますと、多くの小学生は「え〜っ。そんなことできないよ。」との反応があります。大人も子供と同じ。今更、はるか昔の生活には戻ることはできません。持続可能な社会を前提として、いかにして地球温暖化を食い止めるか・・・それが現代を生きる私達に課せられた使命だと思います。

見学会での説明のなかで、1970年以降のわが国の電力消費量は、3.4倍に増加したとのこと。持続可能な社会を前提とするならば、電力消費量を削減することも大切ですが、発電時に生まれる温室効果ガスをいかに削減するかといったことも、重要な課題であるといえるでしょう。こと火力発電所においては、タービン内の燃焼温度をいかに高めるかが、その課題に答えるひとつの解決方法であることと知りました。見学会では、世界最高水準の熱効率を実現した新発電装置を間近に見せていただきました。タービンの大きさに圧倒されながらも、このような装置を造り出せる人類の英知を結集すれば、地球温暖化を防ぐことができると思わずにはいられませんでした。最後に、今回このような機会をつくっていただきました電気事業連合会の方々、また東京電力の方々に厚く御礼申し上げます。

## 5. 気象教育活動

2008年はたくさんの講座にご参加いただき、ありがとうございました。今年度もより多くの方々に学習していただける機会をご提供できるよう努力いたします。気象キャスターの地位向上のために、これからも現役気象キャスターの皆様には講師としてご協力をいただければ幸いに存じます。

### 1. 気象キャスター育成講座

#### ●集中講座ビギナーコース

気象キャスターを目指す方を対象とした集中講座です。気象キャスターとして必要とされる基本的な知識や表現力を、短期間で幅広く学びます。座学が中心ですが、原稿作成やアナウンス訓練、クロマキーによるキャスター体験なども行いました。

日時：2008年9月～11月（全8回）

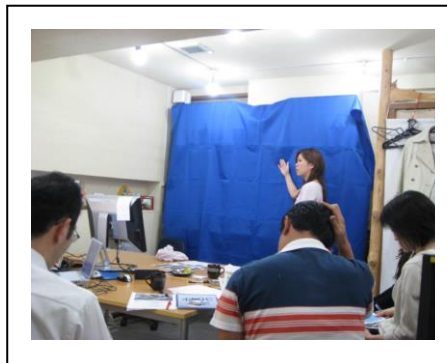
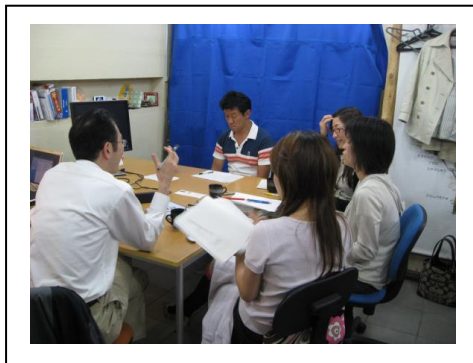
内容：気象キャスターって何？、予報用語を確認しよう、天気を解説しよう、  
災害を防ごう、生活情報を伝えよう、魅力ある声で解説しよう、  
画面で解説しよう

#### ●集中講座マスターコース

クロマキーを使った実践的な集中講座です。現役キャスターを中心に毎回別の講師が担当、カメラテストを数多く経験し、より高度な表現力を養いました。

日時：2008年1月～3月、5月～7月（それぞれ全6回）

内容：クロマキーシステムを使ったカメラテスト



#### ●気象解説原稿講座

気象キャスターや気象現場で働くことを目指す方々に適した、実践講座です。気象現場の経験豊富な講師が、天気予報の原稿作成のアドバイスをしました。

日時：2008年5月10日、17日、24日

#### ●気象予報士試験対策講座

気象予報士試験は、年々難しくなっているとのことですので、今年度も会員の皆様のご要望にお応えして、このような講座を行っていききたいと思います。

日時：2008年7月27日、8月10日、11月15日、12月21日



## 2. アドバンス講座

気象知識の研修として、気象庁や大学研究機関のご協力により、素晴らしい講師の皆様にお越しいただき、最先端の天気予報技術や研究現場の貴重なお話をさせていただきました。

### ① 北極振動とその予測（協力：気象庁）

講師 前田修平氏 気象庁地球環境海洋部 気候情報課予報官

### ② 熱中症について（大塚製薬株式会社協賛）

講師 堀江正知氏 産業医科大学 産業保健管理学 教授

### ③ 地球温暖化のウソ・ホント（現状について）（協力：気象庁）

講師 里田弘志氏 気象庁地球環境業務課

### ④ 地球温暖化のウソ・ホント（予測について）

講師 江守正多氏 国立環境研究所 温暖化リスク評価研究室長

### ⑤ ことわざから読み解く天気予報

講師 南利幸氏 NHK 気象キャスター 気象予報士

### ⑥ 日常生活における熱中症発症リスクとその予防について（大塚製薬株式会社協賛）

講師 寄本明氏 滋賀県立大学 大学院人間文化研究科 国際教育センター教授

### ⑦ 新しい大雨警報（協力：気象庁）

講師 岡田憲治氏 気象庁予報部予報課 気象防災推進室予報官

### ⑧ 南極昭和基地での気象観測（協力：気象庁）

講師 野村幸弘氏 気象庁南極観測事務室 技官

### ⑨ 地球温暖化—越えなければならない壁

講師 林 陽生氏 筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授

### ⑩ 近年の豪雨災害と防災情報を巡る課題

講師 牛山素行氏 岩手県立大学 総合政策学部 准教授

### ⑪ 地球温暖化による植物への影響

講師 萩原信介氏 国立科学博物館附属自然教育園 植物生態学 主任研究官

### ⑫ 世界の異常気象の動向と諸要因

講師 山川修治氏 日本大学 文理学部 地球システム科学科教授



### ■受講生の声 気象キャスター講座を受講して 大友健さん（一般会員）

これまで、気象・防災・環境の分野等での専門の方をお招きして気象キャスター、防災関係者は知っておかなければならない話題について講義して頂きました。特に今年は大雨・洪水・高潮の新たな警報・注意報の指標が導入されたり、竜巻注意情報の発表、熱中症のことなど一般市民の方でも知っておいた方が良いものもありました。初めて聞いたこと、話には聞いたことはあるけれど、説明するとなると…というもの、伝える上での今後課題だけではなく、思わず笑ってしまうようなウラ話も聞くことが出来ました。分かりやすく好奇心をくすぐる講義が多く、新鮮なものでした。また、講座を通して滅多にできない講師や会員同士の交流が出来たことも自分にとって非常にプラスのものになりました。今後もこのような講座が行われることが楽しみです。気象キャスター・防災関係者は勿論のこと、一般の方でも興味のある方は勉強になりますし実生活でも役に立つことが多いと思います。



## 6. 会員による講演活動

### (1) 講演一覧

2008年も多くの自治体や企業、団体から講演の依頼をいただき、会員の皆様にご活躍いただきました。皆様お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

- 1月 独立行政法人水資源機構  
NPO 法人サイカネイチャークラブ  
町田市市民部市民活動振興課
  
- 2月 下野テレビ出演  
川口建築都市設計事務所  
日産自動車株式会社社員向け環境講演会  
SHADO温暖化PV出演
  
- 3月 神奈川県企業庁総務課  
桑名青年会議所  
宮城県登米市  
大塚製薬株式会社熱中症DVD制作出演
  
- 4月 シャープ株式会社エコナビ研修  
日本生活協同組合連合会
  
- 5月 湘南国際村フェスティバル2008  
目黒区緑が丘西地区自治会環境部  
富士通株式会社  
品川区教育委員会事務局生涯学習課
  
- 6月 福井県越前市エネルギー問題  
長野県伊那市  
気象庁職員研修  
中部電力株式会社
  
- 7月 ワールドキャンパスインターナショナル  
リオス  
NACS九州支部  
ストップ!おんだん館  
東邦ガス株式会社  
国土交通省  
麒麟ビール株式会社労働組合

8月 北海道江別市  
高知県安芸市  
伊藤忠商事株式会社親子講座  
横浜市緑区  
株式会社NHKプロモーション  
気象庁霞が関こども見学デー  
長野市

9月 神奈川県環境農政部環境計画課  
東邦ガス株式会社  
群馬県環境政策課  
兵庫県農政環境部環境局大気課  
町田市法人立保育園協会

10月 宮城県登米市  
LOHAS CONCERT  
北海道江別市  
札幌トラック協会  
東京都世田谷区

11月 愛媛県西予市  
群馬県消防保安課

<敬称略>



## 7. 2009年の活動予定

- 1月 気象講座「正しく知ろう！地球温暖化」（講師：近藤氏）
- 2月 定期総会  
特別講演「宇宙から見た地球環境」（講師：寺澤氏）  
特別講演「地球温暖化の最新情報」（講師：石原氏）  
特別講演「地球温暖化の影響」（講師：肱丘氏）  
気象キャスター育成集中講座ビギナーコース＜全8回＞
- 3月 気象講座「地球温暖化とヒートアイランド」  
(講師：三上氏)
- 4月 シャープ株式会社協働による学校環境教育  
日産自動車株式会社協働による学校環境教育  
気象講座「紫外線の強さと肌への影響」（講師：市橋氏）  
(大塚製薬株式会社共催)  
気象キャスター集中講座（マスターコース）＜全6回＞  
日本財団「海の防災」コンテンツ制作
- 5月 気象環境ツアー「発電所施設見学」  
(電気事業連合会協賛)
- 6月 エコライフ・フェア2009  
気象キャスター集中講座（ビギナーコース）＜全8回＞
- 7月 イベント「地球温暖化とエネルギー」（電気事業連合会）
- 8月 なごや環境大学 親子講座  
夏休み親子環境講座（品川区）  
体験型環境学習（埼玉県）
- 9月 気象キャスター集中講座（マスターコース）＜全6回＞
- 10月 まなびピア出展
- 12月 エコプロダクツ2009

年間 気象講座を随時、開催予定。

## 8. 事務局だより

### (1) 事務局長のご挨拶

世界経済危機により、日本企業の収益も急速に悪化する中、企業協賛を主体としてきた私たちの活動も不安要素を抱える年となりました。

しかし、のべ1,000校を超える学校出前授業のほか、環境イベントや講演は高い評価を受けています。2008年は2度目となる「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞し、「地球環境教育といえば気象キャスター」といわれるほど、広く世間に認知されつつあります。

化石燃料社会から低炭素社会、循環型社会に転換していくためには国民の理解が必要であり、そういった意味からも、私たちの環境教育活動は益々重要になるのではないのでしょうか。気象キャスターや気象予報士、地球環境に関心のある方々とともに、地球の未来のために活動していきたいと思えます。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



事務局長 岩谷忠幸

### (2) 副代表のご挨拶

気象キャスターネットワークも無事5周年を迎える事が出来ました。会員の皆様には心より感謝申し上げます。

設立当初は会としても私個人としても何をすればいいのか手探りの状態でしたが、5年経ってやっと進むべき方向が少し見えてきたような気がしています。会にスタッフの一人として深く関わるようになって、私の生活は激変。朝起きてすぐにメールチェック、電車の駅まで歩く間に事務局に電話、通勤中の電車の中では携帯から講師へメール、局の仕事が終わり、深夜に帰宅したあと朝までメール……。昨年度「過労死する！」と騒いだ私ですが、今年度は更に限界に近づいた気がします。(笑)

でも、嬉しい事楽しい事も沢山あった一年でした。サポートをした講師が独り立ちをして、「上手く出来ました！」という報告のメールを読んだ時の ホットした嬉しい気持ち、地方に行ってみんなでイベントをやり終えた時の達成感、実験道具を前に目を輝かしながらチャレンジする子供達を見た時のほのぼのした温かい気持ち。

この会に関わり、会員の皆さんと触れ合う事により、私の人生はより充実したものになりました。今年も毎晩のように「お世話になります、藤森です」というメールが皆様に届くと思います。お返事は早めに下さいね。



副代表 藤森涼子



### (3) ホームページについて

2008年12月に当会員の武田康男さんが南極へ出発しました。南極の様子など写真がたくさん載っている武田康男さんのブログが掲載されています。また、会員ブログ最新情報もリンクされていますので、是非ご覧ください。なお、ブログの登録は事務局までご連絡お願い致します。

昨年より会員専用ページをさらに充実させ、日最高気温、24時間積算降水量、1時間降水量を全国ランキング、地域別ランキング、ライブカメラを掲載しております。また、天気図、予想資料一覧も随時更新しておりますので、ご活用いただきたいと思います。事務局ブログも毎日更新しています。これからも随時改良を加えながら、よりよいホームページになるよう努力していきます。会員の皆様からも、ご意見やご感想をいただくと幸いです。

ホームページのアドレス及び問い合わせ用のメールアドレスは以下の通りです。

<http://www.weathercaster.jp>  
[info@weathercaster.jp](mailto:info@weathercaster.jp)



#### (4) スタッフから会員の皆様へ

●田代大輔 事務局次長 担当業務：企画営業、イベント統括

昨年5月に事務局に入り約10か月、気象や環境の世界の広さに、驚きとやりがいを感じています。ご協力頂いている皆様に感謝です。

●島下尚一 担当業務：企画制作

●吉村友宏 担当業務：イベント

昨年はイベントなどで全国に行かせてもらいました。その地域の事も踏まえ、とても勉強になりました。趣味のスクーバダイビングでも全国の海を巡っています。海の中にも素敵な四季があり、感じる事が出来ます！皆さん、一緒に体感しませんか？

●長島純子 担当業務：会計補佐

今年度は会員として活動していきます。この一年間、会計で皆様にご迷惑をおかけした事をお詫び致します。今年もたくさんの子供たちの笑顔を見られたらと思います。

●渡部圭吾 担当業務：会員管理、シャープ出前授業窓口等

WCNに入り1年が経ちました。イベントや授業に行く機会も多く毎日が新発見です。今年も沢山の事を学びたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

●庄司聡子 担当業務：会計補佐

2月から事務局スタッフの一員となりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

●川瀬宏明 担当業務：ホームページ更新、気象観測管理

ライブカメラや観測機の設置、HPのリニューアルなど、陰ながらWCNの活動の幅を広げました。次年度も頑張ります！

●杉村友希 担当業務：出前授業・イベントサポート

イベントや出前授業などを通して、さまざまなことを学び、たくさんの人と出会えることに感謝しています。

#### (5) 事務局について

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。お待ち申し上げます。



〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21

高遠レジデンス上野桜木（地下1階）

TEL & FAX：03-3828-8694

MAIL：info@weathercaster.jp

JR山手線 鷲谷駅から徒歩7分

地下鉄千代田線 根津駅から徒歩15分

本書作成にあたりコメントをお寄せいただいた皆様、誠にありがとうございました。編集の都合で校正させていただいた部分もございます。何卒ご了承ください。